

市議会だより

平成18年5月1日 第4号



「元気に戻ってきてね」～児童による鮭の稚魚放流式（4月17日、花館字間倉州崎 玉川橋下流右岸）

三月定例会のあらまし

三月定例会（第一回）は二月二十八日に招集され、三月二十日までの二十一日間の会期で行われました。

初日に栗林市長から施政方針演説があり、この中で、「昨年四月、初代大仙市長に就任以来、「市政は市民のために」を基本理念とし、情報公開や説明責任による開かれた市政の推進、住民参加よりさらに踏み込んだ「市民と協働のまちづくり」、職員が常に市民の目線に立ち、現場に足を入れ、市民と一緒に汗をかき、行政情報を出来る限りわかりやすく市民に提供する体制づくりに努めてきた。二年目となる平成十八年度におきましても、その姿勢を変えることなく市政運営に努めてまいりたい。」と述べられました。

そして、平成十八年度を大仙市の実質的なスタートの年と位置づけ、「人が活き人が集う夢のある田園交流都市の実現に向け、着実な一歩を踏み出したい。」との決意を示しました。「そのため、駅前第二地区土地区画整理事業を核とした、国道十三号と結ぶ「駅東線街路整備事業」並びに神岡地域、中仙地域、協和地域の「まちづくり交付金事業」及び太田地域の「むらづくり交付金事業」の推進にも努めたい。」と述べられました。

最終日に追加された人事案件等も含め、上程された案件は条例案三十八件、単行案五十件、平成十七年度補正予算二十三件、平成十八年度各会計予算二十六件、人事案三件でいずれも原案のとおり可決並びに同意と決しました。

一般質問

「18年度予算と今後の財政状況について」

菊地 幸悦 議員



【質問】 当市の財政状況は経常収支比率が九八・四％となり、財政構造の弾力性がほとんど失われていると言っても過言ではありません。十八年度の予算編成では、財政構造の健全化、特に経常収支比率を改善するため、どのような取り組みを実施したのか、またこの難局を乗り切るための方策等をどのように考えているのかお伺いします。

【答弁】 久米助役

将来的には経常収支比率を九十％前後まで下げたいと考えており、十八年度予算編成においては、歳出全般の縮減、スリム化の推進が急務であると考え、予算総額の対前年度比で、市単独事業費は重点施策推進事業の継続分については三％、一般事業は十％、各施設維持管理経費については五％、市単独補助金は十％の削減という方針で経常経費の縮減を図っているほか、物件費では臨時職員の配置の見直しによる賃金の減、委託料では清掃業務の見直し等で経費の節減に努めております。その結果、十七年度見込みの九五・七％より更に〇・九ポイント下がり、九四・八％前後になる見込みであります。なお、消耗品等の一般事務費などは更なる比率改善に向け努力してまいります。

(菊地議員はこの質問のほか、指定管理者制度の導入について、農業関係について、大曲中学校体育館の建築について、市役所職員の対応についての質問も行いました)

一般質問

「中心市街地とまちづくり三法について」

石塚 柏 議員



【質問】 本年二月に閣議決定された「まちづくり三法」は大規模小売店舗立地法、改正都市計画法、中心市街地活性化法の改正で、主に市周辺部の開発を規制することで中心市街地を活性化しようという意図している訳ですが、現在検討されている仙北組合総合病院の移転はこの影響を受けるのかどうかお伺いします。

【答弁】 鎌田建設部長

まちづくり三法が制定された場合の影響についてありますが、これまで大曲バイパス沿いに立地しておりますショッピングモールなどのような施設について、今後は、市のまちづくり計画に適合しない場合建設できないこととなります。また、病院などにつきましては、大仙市は市街地調整区域を設定しておりませんので、郊外への移転などに対する直接的な影響は現段階ではないものと考えられますが、跡地利用などの施策に対する国の助成は厳しくなるものと思われま

す。規制の条件が都市計画法上の用地地域が関係していることから、今後の出店計画に対応するためにも「大仙市都市計画マスタープラン」の策定が必要となるものと認識しております。

(石塚議員はこの質問のほか、大仙市総合計画について、指定管理者の指定と第三セクターの経営情報の開示とその経営管理についての質問も行いました)

一般質問

「税の滞納対策について」

橋村 誠 議員



【質問】 自治体は、国の三位一体改革の影響から地方交付税の削減などにより、かつてない財源難に喘いでおります。これを少しでも自助努力でカバーしていかねばならないわけでありますが、このためには自主財源となる税収の適正確保に努めなければならぬと考えられております。つまりは、税の滞納対策を今後どのように展開するかが、鍵となるように思いますが、市当局の考え方を伺います。

【答弁】 久米助役

税の徴収事務については、各総合支所でまちまちであった体制を統一するため、「市税の徴収事務の基本方針」を作成して、適正な徴収事務の執行や職員の方針の向上等事務処理上の基本的事項、効率的な滞納整理を進めるための手順、滞納処分の方針等を定めるところであります。

今後とも滞納者との納税相談を重ねて参りますが、納税相談に応じない場合や誠意が見られない者、滞納を繰り返す常習滞納者、担税力がありながら納付しな

いなど、いわゆる悪質な滞納者に対しては、毅然とした態度で臨み、財産の差押え等も視野に入れた対応をしていかなければならないものと考えております。

(橋村議員はこの質問のほか、大仙市総合計画について、介護保険事業について、廃棄物対策についての質問も行いました)

一般質問

11人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をたどりました。以下はその要旨です。

一般質問

「非核平和
都市宣言について」
小山 誠治 議員



【質問】 大仙市議会では「非核平和都市宣言」に関する決議を行っているところであります。

市役所前と大曲駅前には広告塔がありますが、いつの間にか、非核平和都市宣言の看板が消えております。看板は、三六五日、二十四時間取り外すべきでないと思いますが、当局の考え方をお尋ねします。

【答弁】 栗林市長

非核平和都市宣言の看板は、市町村合併により市の名称が変わったため、取り外したところであります。大曲地域の市庁舎前及び大曲駅前広告塔につきましても、早急に設置したところでありますが、宣言の決議から看板設置まで時間がかかりましたことにお詫び申し上げます。各総合支所につきましても調査の上、対応策について検討したいと存じます。

十八年度におきましても、非核平和映画会を予定しており、戦争の悲惨さを風化させないよう努めてまいりたいと存じます。

【質問】

「大仙市まちづくり計画」は、向こう十年間の指針となるものであります。また、地域住民は合併前に策定された建設計画に対する期待も大きなものがあるのも事実です。合併前に策定された建設計画が新たな総合計画の中でどのように捉え、五年間の実施計画に反映されたのか、また、地域住民の声を今後どのような方法で把握し集約していくのかお伺いします。

【答弁】 栗林市長

大仙市として初めて策定する「総合計画」は、新市建設計画の考え方を基本としながらも、経営理念をはじめ、限られた財源を有効に活用するため、市民の声を踏まえて、事務事業の必要性や優先順位、内容等の精査・見直しを図り、新たな市政運営の基本方針として策定しました。実施計画の策定に当たっては、新市建設計画の見直しを図り、五カ年間の財政計画に基づき、一般財源ベースで約二分の一と大幅な削減を実施したところであります。

地域住民の声の反映については、市民による市政評価や地域協議会の意見などを、実施計画に反映させ見直しを図り、計画の実効性と弾力性を確保しながらまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

（竹原議員はこの質問のほか、平成十八年度一般会計当初予算案について、体育振興について、農業問題についての質問も行いました）

一般質問

「大仙市
総合計画について」
竹原 弘治 議員



一般質問

「農業問題・
農業政策について」
武田 隆 議員



【質問】

我が大仙市は古来より、農業が基幹産業であり、農業を軸として他産業も発展してきた地域です。農業を発展的に継続維持していく為には、専業農家の農業所得を少なくとも一般サラリーマンの所得程度に高めていくことが最大の課題であると思われませんが、市長が描いている大仙市農業の将来像、将来ビジョンと合わせて見解をお伺いします。

【答弁】 栗林市長

「大仙市経営基盤の強化の促進に関する基本方針」において、地域における話し合いを基本として、規模拡大と収益性の高い戦略作物の導入など、各地域の実情に即応した戦略作物の定着とこれを基幹とした産地形成を促進してまいります。

農業生産面の営農・技術指導体制については、大仙市集落営農・法人化支援センター専門指導員を核として、仙北地域振興局普及指導課、農協等との連絡調整の一元化を図り、密度の濃い営農・技術指導体制を構築したいと考えております。転作地の有効活用確保対策につきましても、土地利用型作目として、販売先やそのルートが確立され、価格面でも優位な「すずさやか」を中心に推進してまいります。循環型農業方式による農家の育成対策につきましても、畜産振興を図り、耕畜連携による農業を基本とした担い手の育成に努めてまいります。

一般質問

「安全、安心して暮らせる生活環境の整備について」

佐々木 洋一 議員



〔質問〕

今冬の豪雪などもあり、火災や自然災害そして急患による救急の医療体制などに対して迅速に対応できる、車両の通行もままならぬ狭隘な生活道路等の整備は急務であります。財政の厳しい中で、道路等の整備をどのように実施していくのか、その現況把握と実態はどうなのか伺います。

〔答弁〕

栗林市長

未整備の狭隘生活道路の実態につきましては、昨年十二月から各総合支所ごとに、箇所数、幅員、延長等について調査を行って参りましたが、概略としては、市道、公衆用道路いわゆる赤道、私道合わせて約四五〇箇所上っている状況にあります。

整備につきましては、各総合支所の実情を踏まえ、財政事情も勘案し、ある程度、中長期的な視点で、年次的に整備を進めてまいりたいと思っております。狭隘路線では特に冬期の課題が多く、高齢化社会の除雪体制の課題もあり、当面は地域との連携・協働による体制も不可欠ではないかと考えております。全てを短期間に整備することは、現実的には難しい状況であることから、行政支援も合わせた連携による協働体制の確立など、各地域協議会等とも協議してまいらなければならない課題と考えております。

(佐々木議員はこの質問のほか、農業振興についての質問も行いました)

一般質問

「効率的な行財政運用を求めて」 本間輝男 議員



〔質問〕

十八年度一般会計の規模をどの程度と推定しているでしょうか。歳出は歳入見込みがあることは当然としてもその財源に多くの合併特例債を含む市債発行、基金繰入処理等の行為を伴った経緯からして、その財源の裏付けに甘さを感じます。

十七年度よりの不用額も含めた最終の繰越額をどの程度と予想するのか伺います。

〔答弁〕

栗林市長

十八年度の決算規模については、補正総額十五億円程度と予測し、四五八億円程度になると考えております。

十八年度当初予算では地方交付税は一八三億四、二〇〇万円で、十七年度当初予算に対し六、四〇〇万円、〇・三％の減で計上しております。

普通交付税と特別交付税を合わせた地方交付税総額では、十七年度交付見込み額に対して十四億一、二〇〇万円、率にして七・〇％の大幅な減額を見込んでおり、適正な計上と考えております。

十七年度からの繰越額の見込みについてであります。過去の執行率、歳入の収入率から推計して十億円

から十一億円程度の繰越額を予想しております。
(本間議員はこの質問のほか、指定管理者制度導入とその執行の基本について、東部地区上水道計画(真木ダム代替案)の基本的姿勢とその具体化にむけてについての質問も行いました)

除排雪の状況・雪害現場を視察 各常任委員会が所管事務を調査

一月十日の豪雪対策本部の設置に伴い、各常任委員会では、所管する事務につき、除排雪の状況や雪害現場等について現地視察を実施しました。



↑総務常任委員会



→教育民生常任委員会



↓建設水道常任委員会



←企画産業常任委員会

一般質問

「食育への取り組みとその施策について」

佐藤孝次 議員



【質問】

昨年七月制定した食育基本法に呼応した秋田県は「食の国あきた推進運動」アクションプログラムをとりまとめたところであります。今後、息の長い運動として展開していく為に、市がもつ具体的施策メニューについてお知らせ願います。また、食教育の拠点と位置づけている（仮称）大曲・南外学校給食センターについても、そのイメージをどう思い描いているのかを伺います。

【答弁】 笹元教育長

食育への取り組みについてであります。市の具体的施策としては、児童・生徒や保護者の調理現場見学や夏休みを利用した「親子料理教室」の開催、学校栄養士と小学校教員との協力による食事と健康についての学習、各地域の農業のプロの方々から指導いただく農業体験学習などがあります。

食教育の拠点として給食センターが果たす機能につきましては、学習や見学スペースなどの空間を充実させ、地域に開かれた大仙市食育拠点を目指す他、環境問題に関わって生ゴミを発酵させ土壌改良剤として還元することなども学習材料となるものと期待しております。

（佐藤議員はこの質問のほか、農業について、秋田わか杉団体の本市の受け入れ態勢について、除雪対策についての質問も行いました）

一般質問

「国民保護計画と国民保護協議会について」

佐藤文子 議員



【質問】

今定例会に武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づく条例案二件が上程されました。この国民保護法は、武力攻撃事態法に基づき制定され、日本の有事の際に地方自治体や指定公共機関などに住民の避難計画や救援・復旧などの「保護計画」を義務付けています。住民の安全を図るには防災計画の充実で十分と思うところであるが、市長はどのように考えているのか伺います。

【答弁】 栗林市長

国民保護計画の策定にあたっての基本的考えにつきましては、国民保護法上、万が一武力攻撃やテロなどの不測の事態が発生した場合に、国、県、市町村はそれぞれ役割分担をしながら国民の生命、身体及び財産の安全を確保する責務を規定しており、市町村は計画の作成と協議会の設置を義務付けられております。

また、市町村が作成する計画は、軍事行動を目的とした動員計画を定めるものではなく、不測の事態が発生した場合に住民の生命、身体、財産を保護するために必要な避難に関する措置、救援に関する措置、災害の復旧に関する措置等を定めるものであります。

（佐藤議員はこの質問のほか、障害者自立支援法の実施と市の対応について、仙北組合総合病院移転改築問題についての質問も行いました）

一般質問

「合併協定書の重みについて」

大野忠夫 議員



【質問】

大仙市が誕生して一年を迎えようとしています。協定書が集約されるまでには旧八市町村住民の想いがぎっしりと詰まっています。社会情勢の変化に伴い協定書の見直しも必要かと思いますが、旧市町村に総合支所を配置した背景と情報インフラ活用の現状と成果について伺います。

【答弁】 栗林市長

総合支所を設置した背景につきましては、当市の合併が対等の新設合併であることや、地域の均衡ある発展を図り、合併後に行政サービスが低下することのないようになどの意見を踏まえ、大曲庁舎に本庁を、各市町村の庁舎に総合支所を置くことが合併協議会で決定されました。その後の協議において、住民自治の振興や住民の声を行政運営に反映される方策として旧市町村ごとに地域自治区を設けることが決定され、総合支所はその機能を変えることなく自治区の事務所とされたものです。

情報インフラ活用と現状の成果につきましては、地域イントラネット基盤に、各種の申請や届け出、広報等行政情報システムによります住民サービスや文書管理、税や戸籍等各種電算システムの稼働と活用等により事務処理を進め、その簡素化と効率化を進めていくところであります。

（大野議員はこの質問のほか、住民要求解決までの経過についての質問も行いました）

当委員会に付託となった案件は、条例案十四件、一般会計補正予算、特別会計補正予算五件、十八年度一般会計予算、十八年度特別会計予算八件、単行案二件でいずれも原案どおり可決並びに同意と決した。

条例の改正のうち、一般職の職員給与に関する条例の一部改正は、人事院勧告及び秋田県人事委員会の勧告に伴い、一般職の職員の給与改定を行うもので、給料表の級及び号給の構成の改定並びに給料月額の改正。

単行案の財産の取得については、(仮称)社会福祉法人明通会が事業

当委員会に付託となった案件は、条例案十一件、一般会計補正予算、特別会計補正予算一件、十八年度一般会計予算、十八年度特別会計予算一件、単行案十八件でいずれも原案どおり可決と決した。

条例の改正のうち、大仙市協和農村地域多目的集会施設の設置及び管理等に関する条例の一部改正は、国土交通省による雄物川河川改修事業により、協和大川端多目的集会施設が移転改築されたことによる改正。

十八年度一般会計予算の新たな経費として、総務費の移動通信用

主体となり建設する社会福祉施設(仮称)テンダーヒルズの用地として大仙市土地開発公社が取得・造成した中沢工場団地内の土地を市が買収の上、同会に貸し付けるために議会の議決を得るもの。また、大仙市と横手市との境界変更は、角間川地域の唐白天地区県営ほ場整備事業の結果、大仙市と横手市の境界を変更する必要が生じたため、議会の議決を得るもの。

最終日には、大仙市議会議員の報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正などの条例案五件が追加で提案された。

鉄塔施設整備事業費、地域イントラネット基盤施設管理費、男女共同参画推進経費、日韓大綱引き交流事業費などである。

単行案の大仙市総合計画基本構想については、大仙市の総合的かつ計画的な行政の運営を図るため議会の議決を得るもの。また、平成十八年度から指定管理者制度へ移行するとしている施設について議会の議決を求めるものが十四件、平成十八年度一般会計からの事業資金を繰り入れるために議決を得るものが一件であった。

委員会審査 の あ・ら・ま・し

総務常任委員会

教育民生常任委員会

当委員会に付託となった案件は、条例案十件、一般会計補正予算、特別会計補正予算八件、十八年度一般会計予算、十八年度特別会計予算八件、十八年度市立大曲病院事業会計予算、単行案十九件でいずれも原案どおり可決と決した。

条例の改正のうち、大仙市すこやか子育て手当支給条例の一部改正では、本年八月以降の出生者に係る支給から福祉医療費の受給者に限定する所得制限を設けるほか、出生月の翌月からとしている支給期間を県に合わせ出生月からと改正するもの

の。十八年度一般会計予算の新たな経費として、西仙北地域の統合保育園建設事業、社会福祉施設(仮称)テンダーヒルズ建設補助金、(仮称)八乙女研修宿泊施設大規模改修事業費、北檜岡公民館建設事業費などである。

単行案では、平成十八年度から指定管理者制度へ移行するとしている施設について、議会の議決を求めるものが十四件、平成十八年度一般会計からの事業資金を繰り入れるために議決を得るものが四件であった。

企画産業常任委員会

建設水道常任委員会

当委員会に付託となった案件は、条例案三件、一般会計補正予算、特別会計補正予算六件、十八年度一般会計予算、十八年度特別会計予算六件、単行案十件でいずれも原案どおり可決並びに同意と決した。

条例の改正のうち、大仙市公園条例の一部改正では、神岡地域の神岡中央公園、協和地域の米ヶ森公園及び仙北地域の仙北ふれあい公園の三公園を新たに都市公園法に基づく当市の公園として位置付けるための改正。

十八年度一般会計予算の新たな経費として、古四王際飯詰線の地方道路交付金事業費、宮林線の地方特定道路整備事業費などである。単行案の市道路線の認定、廃止及び変更では、認定する路線が二五路線、廃止する路線が五十一路線、変更する路線が四路線となり、これに伴って当市の市道路線は七十四路線増の六、三九八路線となるもの。

最終日には神岡地域のまちづくり交付金事業中央公園屋内多目的施設建築工事に係る議決の変更について追加で提案された。

予算質疑

2人の議員が予算に対し市当局の見解をたてました。以下はその要旨です。

【質問】

地方交付税の大幅な減に代表される、合併前の想定を超える事情変化により、危機的とも言える状況となった本市の財政状況を反映し、市長は平成十八年度の予算編成にあたっては、相応なご苦勞をされたかと拝察いたしますが、今回の予算編成にあたり、具体的に特に苦勞された点は何でしょうか。

【答弁】 栗林市長

予算編成についてではありますが、たいへん厳しい財政事情により、必要な財源の確保が難しい状況の中での予算編成でありました。各地域から要求のあった事務事業については、それぞれの地域の事情、必要性があつて計画されたものと認識しておりますが、財源不足から、事業内容の見直しや、緊急性、必要性、効率性等の観点から事務事業の選択と優先順位をつけることなどに苦勞したことであります。

またメリハリのある予算の編成に努めるとともに、各分野、各地域間の均衡も考慮しなければならなかったことであります。最終的に、四四三億八、九五〇万円の予算規模となったものであります。全体的に各部署において計画段階での財源を含めた事務事業の精査、及び必要性の検討が不足していると感じております。

(杉沢議員はこの質問のほか、教育費の学校生活支援事業費についての質問も行いました)

予算質疑

「予算編成にあたり
苦勞した点は」

杉沢千恵子 議員



予算質疑

「仙北24号線の
路面舗装改良は」

佐藤隆盛 議員



【質問】

土木費、市道 仙北二十四号線は、本市から美郷町及び横手市へ向かう際の最重要生活道路として、多くの人々に利用されながら、また仙北市方面の連絡道路としての利用頻度も高く、特に近年大型車の交通量が急激に増加しているため、路面の老朽化が著しい状況であります。また、十九年に開催される秋田わか杉国体の自転車競技ロードレース・コースとして決定しており十八年度に予算計上でできなかった理由と今後の対応について伺います。

【答弁】 栗林市長

平成十九年度開催予定の「秋田わか杉国体」の自転車競技ロードレース・コースの仙北地域四・八km、太田地域六km、大曲地域〇・三kmの計十一・一kmのうち、市道仙北二十四号線と太田地域の市道路面舗装につきましては、予算編成過程の中で検討をいたしました。来期の降雪に伴う除雪作業などによる路面の損傷等不測の事態も考えられることから、同じくロードレース・コースになつて美郷町とも連携し、十八年度の予算計上を見送り十九年度当初予算に計上し、国体本番に合わせ、早期発注により対応してまいりますので、ご理解をお願いいたします。

なお、十八年度にはプレ国体が予定されておりますが、路面の局所的な損傷等につきましては補修してまいります。

人事

教育委員の任命に同意



三浦 憲一氏
(花館)

人権擁護委員の推薦に同意



佐々木真一氏
(大曲西根)



高畠 良市氏
(清水)

議会を

傍聴しましょう

市政を知るために

次の定例会は、六月上旬の予定です。傍聴の受付は議会事務局で行っております。お気軽においでください。

☆平成十七年度大仙市老人デイサービス事業特別会計補正予算(第二号)

☆平成十七年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第二号)

☆平成十七年度大仙市大沢郷財産区特別会計補正予算(第一号)

☆平成十七年度大仙市荒川財産区特別会計補正予算(第一号)

☆平成十七年度大仙市峰吉川財産区特別会計補正予算(第一号)

☆平成十七年度大仙市船岡財産区特別会計補正予算(第一号)

☆平成十七年度大仙市淀川財産区特別会計補正予算(第一号)

☆平成十七年度市立大曲病院事業会計補正予算(第二号)

■当初予算関係

☆平成十八年度大仙市一般会計予算

☆平成十八年度大仙市国民健康保険事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市老人保健特別会計予算

☆平成十八年度大仙市土地取得特別会計予算

☆平成十八年度大仙市土地区画整理事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市学校給食事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市奨学資金特別会計予算

☆平成十八年度大仙市宅地造成事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市簡易水道事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市公共下水道事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市農業集落排水事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別

会計予算

☆平成十八年度大仙市老人デイサービス事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市スキー場事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市内小友財産区特別会計予算

☆平成十八年度大仙市大川西根財産区特別会計予算

☆平成十八年度大仙市大沢郷財産区特別会計予算

☆平成十八年度大仙市荒川財産区特別会計予算

☆平成十八年度大仙市峰吉川財産区特別会計予算

☆平成十八年度大仙市船岡財産区特別会計予算

☆平成十八年度大仙市淀川財産区特別会計予算

☆平成十八年度市立大曲病院事業会計予算

☆平成十八年度大仙市上水道事業会計予算

☆平成十八年度大仙市下水道事業会計予算

☆平成十八年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計予算

☆平成十八年度大仙市農業集落排水事業特別会計予算

整備計画の策定について

☆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

☆財産の取得について

☆大仙市と横手市との境界変更について

☆大仙市西仙北ふれあい広場等に係る指定管理者の指定について

☆大仙市太田高齢者等活動・生活支援促進機械施設等に係る指定管理者の指定について

☆大仙市太田農産物処理加工施設に係る指定管理者の指定について

☆大仙市西仙北農村交流施設に係る指定管理者の指定について

☆大仙市中仙地域農業総合管理施設に係る指定管理者の指定について

☆大仙市協和農業体験学習館に係る指定管理者の指定について

☆大仙市協和家畜排泄物処理施設に係る指定管理者の指定について

☆大仙市公設小売市場に係る指定管理者の指定について

☆大仙市西仙北地域産物加工販売施設に係る指定管理者の指定について

☆大仙市神岡生産物直売・食材供給施設及び大仙市神岡交流促進センターに係る指定管理者の指定について

☆大仙市協和家畜排泄物処理施設に係る指定管理者の指定について

☆大仙市西仙北地域産物加工販売施設に係る指定管理者の指定について

指定について

☆高速自動車国道活用施設ぬく森プラザ及び西仙北ぬく森温泉ユメリアに係る指定管理者の指定について

☆協和温泉(四季の湯)に係る指定管理者の指定について

☆大仙市観光情報センターに係る指定管理者の指定について

☆大仙市大綱交流サロンに係る指定管理者の指定について

☆大曲一般廃棄物最終処分場に係る指定管理者の指定について

☆上淀川エコ対策コミュニティセンターに係る指定管理者の指定について

☆太田北部墓園等に係る指定管理者の指定について

☆大仙市峰吉川基幹集落センターに係る指定管理者の指定について

☆荒川福祉会館に係る指定管理者の指定について

☆玉川荘に係る指定管理者の指定について

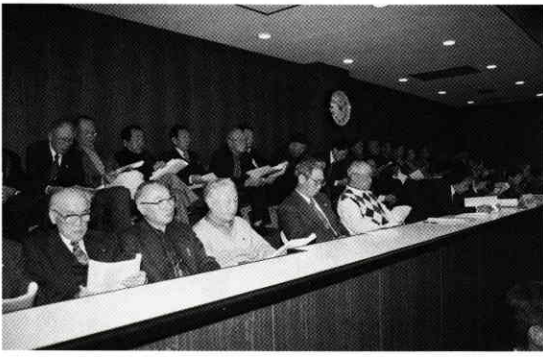
☆老人憩の家寿楽荘等に係る指定管理者の指定について

☆水沢老人憩の家に係る指定管理者の指定について

☆小種老人憩の家に係る指定管理者の指定について

☆中淀川老人憩の家に係る指定管理者の指定について

☆中淀川老人憩の家に係る指定管理者の指定について



たくさんの傍聴者が訪れた平成十八年第一回定例会

可決した議案

第一回臨時議会

(一月十九日開会)

■補正予算関係

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第七号)

第一回定例会

(二月二十八日)

三月二十日開会)

■条例関係

☆大仙市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市太田国民健康保険歯科診療所長の給与の特例及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市土地開発基金条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市協和農村地域多目的集

会施設の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市分収林に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市公設小売市場の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市神岡農山村多面的機能活用施設及び交流促進センター施設条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市西仙北ぬく森温泉ユメリア条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市協和温泉条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市南外ふるさと館設置条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市史跡の里交流プラザ「柵の湯」設置条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市太田ふるさと館条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市太田国民休養地奥羽山荘条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市すこやか子育て手当支給条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市老人憩の家設置条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市協和老人憩の家使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市道路路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市市民会館等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の制定について

☆大仙市地域振興基金条例の制定について

☆大仙市受胎調節実地指導員指定証交付等手数料徴収条例の制定について

☆大仙市荒川鉾山跡地観光施設設置条例等の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の制定について

☆大仙市犯罪被害者等基本条例の制定について

☆大仙市国民保護協議会条例の制定について

☆大仙市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定について

☆中仙町社会福祉条例及び仙北町福祉条例を廃止する条例の制定について

☆大仙市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例を廃止する条例の制定について

☆大仙市議会の議員の報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市長及び助役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市監査委員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市議会政務調査費の交付に関する条例の制定について

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第八号)

☆平成十七年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算(第三号)

☆平成十七年度大仙市老人保健特別会計補正予算(第三号)

☆平成十七年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算(第二号)

☆平成十七年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算(第三号)

☆平成十七年度大仙市奨学資金特別会計補正予算(第一号)

☆平成十七年度大仙市宅地造成事業特別会計補正予算(第二号)

☆平成十七年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第三号)

☆平成十七年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算(第二号)

☆平成十七年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第二号)

☆平成十七年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算(第二号)

☆平成十七年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算(第一号)

☆平成十七年度大仙市介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計補正予算(第三号)

☆平成十七年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計補正予算(第二号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市国民健康

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

☆平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第九号)

可決した議案

(前ページからつづく)

☆沢内高齢者健康増進ふれあい館に係る指定管理者の指定について

☆ねむのき駐車場等に係る指定管理者の指定について

☆平成十八年度大仙市宅地造成事業特別会計への繰入について

☆平成十八年度大仙市介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計への繰入について

☆刈和野地区コミュニティセンターに係る指定管理者の指定について

☆市道路線の認定、廃止及び変更について

☆平成十八年度大仙市公共下水道事業特別会計への繰入について

☆平成十八年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計への繰入について

☆大曲ファミリースキー場及び大曲ファミリースキーキャンプ場に係る指定管理者の指定について

☆平成十七年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への繰入額の変更に

☆平成十八年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計への繰入について

☆平成十八年度大仙市老人デイサービス事業特別会計への繰入について

☆高畑へき地保育所及び川目へき地保育所に係る指定管理者の指定について

☆平成十七年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更に

☆平成十八年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入について

☆平成十八年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入について

☆平成十七年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への繰入額の変更に

☆平成十八年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入について

☆平成十八年度大仙市老人デイサービス事業特別会計への繰入について

☆平成十八年度大仙市介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計への繰入について

請願・陳情・意見書

【請願】

◎「刈和野大綱引き伝承館（仮称）」の建設に関する事
=採 択=

【陳情】

◎庶民大増税の中止を求めることについて =不採択=

◎介護保険の改善を求めることについて =不採択=

◎社会保障制度充実と最低保障年金制度創設を
求めることについて =不採択=

◎法務局の増員に関する事について =不採択=

◎地方交付税、地方財政の確保に関する事
について =採 択=

◎道路改良並びに舗装に関する事
について =継続審査=

◎公共サービスの安易な民間開放は行わず、
充実を求めるとして =不採択=

◎地域別最低賃金の引き上げと最低賃金制度
の改正を求めるとして =採 択=

【意見書】

◎地方交付税、地方財政の確保を
求める意見書 =原案可決=

◎地域別最低賃金の引き上げと最低賃金
制度の改正を求めるとして =原案可決=

◎道路特定財源制度の堅持を
求める意見書 =原案可決=

◎さらなる総合的な少子化対策を
求める意見書 =原案可決=

◎事業仕分けによる行財政の
効率化を求める意見書 =原案可決=

※これらの意見書は、大仙市議会の提案により議決し、
内閣総理大臣をはじめ、各関係大臣に対し要望しました。

編集後記

市民の皆様にはご健勝の事とお慶び申し上げます。

「市議会だより」第四号をお届けいたします。新年度は大仙市として実質的なスタートの年であり、三十人の議会となって初めての予算・条例等の審議でありました。一般質問十一名、予算質疑二名が質問され、又各委員会での活発な質疑・応答がなされる等、市民の福祉の向上、安全安心なまちづくりに対する議員各位の意欲と熱意が伝わる内容の充実した定例会でありました。日常の議会の活動・内容について市民の皆様にお知らせする事は議会としての責務でもあります。その一つの方法として議会だよりを発行しておりますが、紙面等の関係で特に一般質問者の質問内容、答弁を全部記載できない編集内容となっております。市民の皆様にご覧いただき、分かりやすい編集、紙面づくりに向けて更なる改善、検討を加えて、議会だよりの内容の充実に向けて参りたいと思っております。市民の皆様のご感想、ご意見をお寄せ下さることをお願いし編集後記いたします。

副委員長 佐々木洋一 記



順調に工事が進む(仮称)大曲・南外学校給食センター